

The Theory of Characterization of Cyclingclubtic Person.

BY. T. OHTSUKA

<Introduction>

4年生になって論文などをムリヤリ読まされているためクラブを脱退するにあたり、TITCCについて、ムリヤリに理論をうちたててみよう。

<Calculation of Potential>

1. サイクリングポテンシャル

このポテンシャルは、最も重要なものであり、慎重に決めるべきである。その結果下の関数を用いる

$$\mu_1 = -\frac{1}{4}t(t-4) \quad \text{----(1)}$$

t: クラブ在席年数 (ただし $0 < t < 4$)

2. 活動度ポテンシャル

サイクリングポテンシャルはサイクリングのテクニックであるのに対して、これはクラブへの貢献度というべきか。活動度ポテンシャルは年がたつにつれ減少するとみられる。

$$\mu_2 = \underbrace{-(t^2 - 16)}_{\text{マイナスが大きい}} \cdot \frac{1}{16} \quad \text{--- (2)}$$

- 3. 酒ポテンシャル μ_3
- 4. タバコポテンシャル μ_4
- 5. 女ポテンシャル μ_5

この3つについては
かなり安定性があるため
パーリチルパラ
メータの値を用いる。

⑧ Personal Parameter : α

これは7つが買のうち最も優れているもの
に対し、 $\alpha=1$ 劣っているものに $\alpha=0$
を適用する。よって平均値は $\alpha=0.5$ である。

6. キャンプポテンシャル

このポテンシャルは、ほぼ $t=2$ で定常となる

よって $0 < t < 2$ のとき

$$\mu_6 = \frac{1}{2}t \quad \text{---- (3)}$$

$2 \leq t < 4$ のとき

$$\mu_6 = 1 \quad \text{---- (4)}$$

7. Car Potential

なぜか英語で書いてしまったこのポテンシャル
は、やはり年がたつにつれ蓄積がうまく
なるというこで"下記のおよになる。

$$\mu_7 = \frac{e^t - 1}{e^4 - 1} \quad \text{---- (5)}$$

< Total Potential >

$\mu_1 \sim \mu_7$ までには先に述べた personal parameter α をかけると、トータルポテンシャルとなる。

よって、

$$\mu_{total} = \sum_{i=1}^7 \alpha_i \mu_i \quad \text{---- (6)}$$

となる。 μ_{total} の最大値は、 α をすべて 1 にとり、
在り得る数をおよぼして計算すればよい。

<例> 平均的クラブ員 ($\alpha=0.5$ $t=2$)

$$\mu_1 = 0.5 \times 1 = 0.5$$

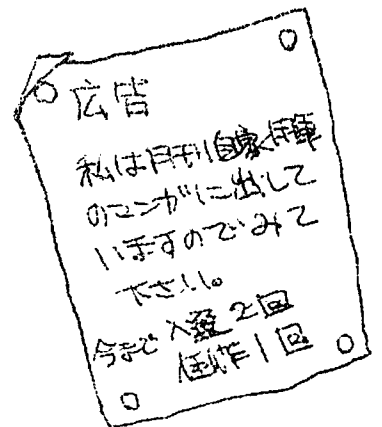
$$\mu_2 = 0.5 \times 0.75 = 0.375$$

$$\mu_3 + \mu_4 + \mu_5 = 1.5$$

$$\mu_6 = 1 \times 0.5 = 0.5$$

$$\mu_7 = 0.5 \times 0.119 \approx 0.06$$

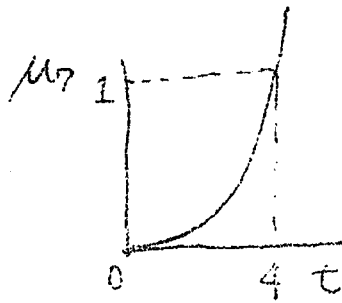
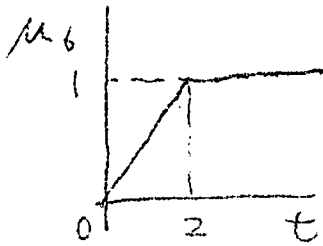
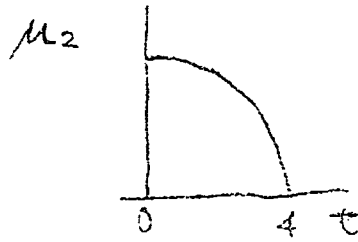
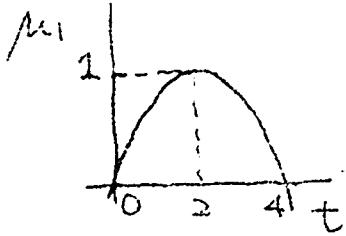
$$\therefore \mu_{total} = 2.935$$



ということになり、かなり信頼性があるかどうかは、疑わしさよりも、ほかほかしさか先にたつきをするとは限らないと思う。

<Discussion>

さておのあののポテンシャルは以下のごとくである。



このように、TETCCについて 東工大的な考察を加えたものがなかっただけに、この論文は非常に有効かつ評価されるべきものである。とかなんとかいいつつも私自体もう 学生生活とお別れするのほせびしいが、いたしかたあるまい。物置に眠っている 變千かりを想うと 数々の場面が鮮やかに再現されるが、何事も前向きに、あまりノスタルジックな気持ちはどうかしらね……

疲れました。 完